

〈夏休みの友〉だより

小学校1～6年生

2020.7.13 山梨県連合教育会

夏よに読みたい、おすすめの本ほん!

1年生

〈あててえな せんせい〉 木戸内福美・文 長谷川知子・絵 〈あかね書房〉



「わたしな、ほんよみすきやねん。でもな、こくごのじかんにてをあげようおもたら、どっくんどっくんしてくんねん。」

きんちょうするといつもじょうずにできることも、いつもどおりにできないことってありますよね。そんなとき、おうえんしてくれるひとがいると「がんばろう。」とおもえます。いつも、そばでおうえんしてくれるひとのかおがうかんできて、あたたかいきもちになるおはなしです。ぜひよんでみてください。

しょうかい文・鶴田 望 (白川小)

2年生

〈はじめてのゆうき〉 そうまこうへい・作 タムラフキコ・絵 〈小峰書店〉



一学期がはじまってから、としおは、学校でなにかまはずれにされました。やさしくて気のよわいとしおは、なにもすることができません。そんなある日、としおは、自分をからかう黒板のいたずらがきを見て、がまんできず、「だれなんなら、だれがかいたんじゃあ!」とおか山べんでさげんでいました。おか山べんを話すお父さんを思い出し、としおは、はじめてゆうきを出すことができました。

ゆうきを出すと、今まで気づかなかった新しい自分に出会えます。自分の心の中にあるゆうきについて考えるきっかけにしてみてください。

しょうかい文・川久保蓉子 (葦崎小)

3年生

〈タケノコごはん〉 大島 渚・文 伊藤秀男・絵 〈ポプラ社〉



「先生、戦争なんかいくなよっ」
クラスで一番ケンカの強いさかいくん。でも、ほがらかで友達思いのさかいくん。お父さんが、戦争でなくなった時も、なみだ一つこぼさなかったさかいくん。

そして、みんなが大好きだった担任の先生も、戦争にいかなければならなくなりました。おわかれに、先生の家でごちそうになった「タケノコごはん」。むちゅうで食べながら、さかいくんが、はじめてなみだを流しました。

さかいくんを通して、戦争を知り、戦争について考えてほしいと思います。

しょうかい文・向山明見 (双葉東小)

保護者の皆様へ 「夏休みの友感想文コンクール」の中止について

新型コロナウイルスの影響により、誠に残念ですが、今年度の「夏休みの友」の発刊を見送らせていただきました。あわせて、「夏休みの友 感想文コンクール」も、中止とさせていただきます。ここでは、「夏休みの友」で紹介予定だった図書を掲載してあります。この夏、お子様が読書に親しむ際の参考にしていただければと思います。

4年生

〈あの日とおなじ空〉 安田夏葉・作 藤本四郎・絵 〈文研出版〉



夏休み、ダイキはお兄ちゃんと二人だけで、ひいおばあちゃんのいる沖縄にやってきました。沖縄で南の風をいっぱいを感じ、楽しくてワクワクすることばかりの毎日。でも、ダイキたちが戦争のことを聞くと、ひいおばあちゃんからは、いつもやさしい、くしゃくしゃした笑顔は消え、目の光も消えてしまいます。

そんなある日、ダイキはガジュマルの木の下で、不思議な体験をするのでした。ガジュマルの木に住んでいると言われているマジムン(魔物)のキジムナーと出会い、ひいおばあちゃんの記憶に触れるのです。

今、戦争について知ることからはじめてみてはどうでしょう。命と平和について考えることができる一冊です。この夏、ぜひ読んでみてください。

しょうかい文・雨宮由香 (塩山北小)

5年生

〈時をつなぐおもちゃの犬〉 マイケル・モーバーゴ・作 杉田 七重・訳
マイケル・フォアマン・絵 〈あかね書房〉



時は1960年代のイギリス。12歳の少女チャーリーの母親が大切にしている古い木のおもちゃの犬「リトル・マンフレート」。チャーリーは母親が本物の犬のように背中をなで、だれよりも大切にしているのをいつも不思議に思っていました。そして時々悲しい目で、「リトル・マンフレート」を見つめていることも……。

第二次世界大戦中、不思議な縁で出会ったイギリス人の少女と兵士、そしてドイツ人の捕虜との友情。その友情はどれだけ時がたとうとも、深い絆として変わらず存在し続けました。過去から現在、そして未来へとつながっていくおもちゃの犬がつなぐ平和への思いについて、じっくり考えてほしいとおもいます。

しょうかい文・太田 圭 (山梨大学附属小)

6年生

〈青い目の人形物語 I〉 シャーリー・バレントン・作 河野万里子・訳
(岩崎書店)



1927年、アメリカ人宣教師が呼びかけて、日本とアメリカの間で「友情の人形」が交換されました。この史実をもとに、「青い目の人形物語 I」は、書かれています。

大好きな母とはなれて祖父母と暮らす11歳のレキシィーは、日本に送られる人形「エミリー・グレース」にそえられる手紙を書くことになりました。一人の少女の心の葛藤と成長を描いた感動の物語です。

日本とアメリカは「友情の人形」を交換しましたが、1941年から太平洋戦争で敵国同士となってしまいます。この物語を読むことで、戦争のおろかさや痛ましさにも思いをめぐらせて、平和について考えるきっかけにしてみてください。

しょうかい文・野口千尋 (小笠原小)